



2021年3月1日
株式会社西武ライオンズ
NTTコミュニケーションズ株式会社

西武ライオンズとNTTコミュニケーションズ、 ICTを活用したスマートスタジアムの実現に向けたパートナーシップ契約を締結

～3/26（金）本拠地開幕戦からお客さまへ新しい観戦体験の提供を目的に、
利便性、安全性の向上に向けた協業をスタート～



株式会社西武ライオンズ(本社：埼玉県所沢市、代表取締役社長：居郷 肇、以下「西武ライオンズ」)と、NTTコミュニケーションズ株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：丸岡 亨、以下「NTT Com」)は、埼玉西武ライオンズの本拠地であるメットライフドームにおける情報通信技術(ICT)を活用したスマートスタジアムの実現に向け、パートナーシップ契約を締結いたしました。2021シーズンからICTなどを活用し、ファンの皆さまの利便性、安全性の向上に取り組み、新しい観戦体験を提供いたします。

その皮切りとして、2021シーズン開幕戦の3月26日(金)には、ICTを用いた新たな企画を検討しています。さらにシーズン中にはドーム内外のデジタルサイネージなどを活用し、試合前後の時間もお楽しみいただける新たなエンターテインメントコンテンツをご提供する予定です。

西武ライオンズでは2017年に発表いたしました「メットライフドームエリアの改修計画」に基づき、“スマートスタジアム化の加速”を進めておりますが、メットライフドームエリアにおけるICT活用の基盤となる高速通信ネットワークの整備や、キャッチャーの捕球音を集音し臨場感のある音を演出するためのターゲットマイクの導入、球場ビジョン「Lビジョン」やデジタルサイネージなどの大型機器の導入のサポートをNTT Comが担いました。さらに両社は、「3密」の回避に向けて店舗の混雑状況をスマートフォンでリアルタイムに確認いただけるサービス(2020年10-11月に共同実験)による安全性向上の取り組みなど、協業を重ねてまいりました。

本契約の締結に伴い、西武ライオンズとNTT Comでは、ICTを活用してメットライフドームのスマートスタジアム化をさらに推進し、これまで以上の新しい観戦価値を提供するほか、お客さまの利便性や安全性が向上するサービスなどを提供してまいります。なお、2021シーズンより、メットライフドームのファウルエリアの人工芝にNTT Comの企業ロゴを掲出いたします。今後の協業内容については改めて発表いたします。

西武グループは、お客さまや社会の価値変容、行動変容が進む中で、西武グループが元々得意とする人の移動、モノや場所を用意するハード面の強みにデジタルを融合することにより、お客さまに新たな価値を提供することを目指しており、今後も DX 戦略を推進していきます。



【株式会社西武ライオンズ 概要】

代表取締役社長：居郷 肇

本社所在地：埼玉県所沢市上山口 2135

ホームページ：<https://www.seibulions.jp/>

設立：1950年1月28日 西鉄野球株式会社として登記

1978年10月25日 福岡野球株式会社より株式会社西武ライオンズに商号変更

株式会社西武ライオンズは、1950年に西鉄野球株式会社として登記、1978年に西武ライオンズに商号を変更しました。1979年より埼玉県所沢市を本拠地とし、2008年1月1日に地域密着をさらに推し進めるため、チーム名を「埼玉西武ライオンズ」と改めました。前身の西鉄時代を含め、23回のパシフィック・リーグ優勝、13回の日本シリーズ優勝などを誇り、いずれもパ・リーグ最多です。今年3月には2017年より進めている「メットライフドームエリアの改修計画」が完了を迎え、より一層、地域密着とファンから愛される球団を目指しています。

【NTT コミュニケーションズ株式会社 概要】

代表取締役社長：丸岡 亨

本社所在地：東京都千代田区大手町 2-3-1 大手町プレイスウエストタワー

ホームページ：<https://www.ntt.com/>

設立：1999年

NTT コミュニケーションズ株式会社は1999年に設立され、通信事業者ならではの高品質なインフラと技術を活かし、ネットワーク、クラウド、コロケーション、アプリケーション、セキュリティなどの多岐にわたるICTサービスを展開しています。事業ビジョン「Re-connect X」にもとづき、生活者・ビジネス・社会を、安心・安全かつ柔軟に「新たな価値でつなぎなおす」ICTサービス・ソリューションを提供し、ニューノーマルの世界における持続可能な未来の実現を目指しています。詳細は<https://www.ntt.com/>をご確認ください。